

活動組織名 矢戸環境保全会

○付け 活動内容（※該当する項目すべてに○をつけてください）

- 農地維持活動
- 資源向上活動（共同）
 - 啓発・普及（地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など）
 - 生態系保全（生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など）
 - 農村環境 水質保全（水質モニタリングの実施・記録管理 など）
 - 向上活動 景観形成・生活環境保全（景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など）
 - 水田貯留機能増進・地下水かん養（水田の貯留機能向上活動 など）
 - 資源循環（地域資源の活用・資源循環のための活動）
- 多面的機能の増進を図る活動 農村環境保全活動の幅広い展開
- 資源向上活動（長寿命化）

活動(行事)名	農地周辺に生息する水生生物の生態状況調査			
実施場所	矢戸川支流			
実施日	平成30年7月28日(土)			
参加者	矢戸地区親子	20名	その他個人(農業者)	8名
		名	その他個人(非農業者)	2名

〔活動の内容〕

水質調査(透視度、PH、COD)
 水路で水生生物の捕獲(全員)
 捕獲水生生物の種類、数の確認
 講師：可児市環境課職員

〔参加者の感想など〕

矢戸環境保全会では、毎年、矢戸地域の農地の水質や周辺にはどのような生物が生息しているのかを調査し、その種類により地域の環境が保たれているかを把握しています。今年度は透視度100で水のPHは中性であり、ドジョウ、ヨシノボリ、タニシ、カワナ、カワエビ、ザリガニなどの水生生物が捕獲でき、矢戸地区の農地について、きれいな環境であることが実感することができました。
 子ども会との連携により子どもたちに地元の農地の生態系の重要性を教え、環境学習や農地の重要性の理解につなげていきたいと考えています。

